

平成 21 年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

1 項 社会福祉費

長寿社会課 (内線: 7 1 7 9)

4 目 老人福祉費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 「住まい」のあん しんガイド事業	1,417	0	1,417	398			1,019	
トータルコスト	6,388千円 (前年度 0円)							
従事する職員数	正職員: 0.6人							
主な業務内容	制度の周知・説明、関係機関との調整、研修会の企画・実施							
説 明								
1 事業の目的								
『高齢者の住まい』に関わる多様な「制度」や「サービス」を有効活用(適切な選択)し、現在自宅で生活されている高齢者が快適に生活を継続できるように、また入院中及び施設入所中の高齢者等が安心して住み慣れた自宅や地域に戻り生活できるように、『高齢者の住まい』に関わる情報の普及・啓発を行うとともに、相談・支援に関わる人材の育成を行う。								
2 事業の内容								
(1) 「住まい」に関する情報発信 (単位: 千円)								
区 分	内 容						予算額	
「高齢期の住まいガイド」(パンフレット)の作成	高齢期の「住まい」の選択を行う際の参考となるよう、「自宅でどのような支援(制度も含む)が受けられるのか」、また「住み替える際には、どのような住まいの場があるのか」、それらに係る金額等を紹介する。						263	
高齢期の「あんしん住まい」セミナー	団塊の世代といわれている50歳代後半以降の県民を対象に、住まいに関する制度や受けられるサービス内容等について周知を行う。						358	
合 計						621		
(2) 相談に係る人材の資質向上 (単位: 千円)								
区 分	内 容						予算額	
高齢者住宅支援関係者研修会	適切な制度・支援を利用して高齢者が地域での生活を継続できるよう、「住まい」及び「住環境整備(福祉用具・住宅改修)」についての関連情報等を周知すると共に、関係者がネットワークを回り高齢者の支援にあたるよう研修を開催。 (年3回)  【研修対象者】 (ア) 住民の相談対応を行う者 医療機関のソーシャルワーカー、地域包括支援センター職員、介護支援専門員、市町村職員等 (イ) 高齢者向けの住宅の管理及び見守り等を行っている者、生活援助員、社会福祉法人・民間事業者の職員等						796	
合 計						796		